

平成27年2月1日

各関係大学学部長
各関係大学院研究科長 殿
各関係機関長

慶應義塾大学
商学部長 金子 隆
(公印省略)

専任教員の募集について (依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当学部では下記の要領により専任教員の募集を行うことになりました。つきましては、貴学関係方面へご周知いただき、適任者の応募についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 募集分野 スペイン語
- 2 職 位 慶應義塾大学商学部 専任講師 (職位は当学部の規程による)
- 3 募集人員 1名
- 4 採用予定 平成28 (西暦2016) 年4月1日
- 5 待 遇 慶應義塾規程による (定年は満65歳)
- 6 応募資格 大学院後期博士課程修了、あるいはそれと同程度の学歴ないし研究業績を有すること。
教育・学務遂行に必要な日本語能力を有すること。
スペイン語教員としての能力を裏付ける職歴・留学歴を有すること。
- 7 応募締切 平成27年3月26日 (木) 必着
- 8 提出書類 (1) 採用願書 (所定用紙) 1部
はじめに下記の<Web エントリーの手順>に従って Web エントリーを行い、
エントリーフォーム (「採用願書」) をプリントアウトしたものと、その他の
提出書類一式を揃えて、書類提出期限内に指定の方法で書類を送ってください。
必ず、Web エントリーと応募書類の郵送の両方を行ってください。
 <Web エントリーの手順>
 ①右記 URL (<http://www.fbc.keio.ac.jp/recruit/index.html>) から Web エントリーページにアクセス
 ②必要事項の入力
 ③登録完了後の「採用願書」画面を白黒印刷
 注1) 必ずプリンターの設置された環境で行ってください。
 注2) 登録完了後、内容に誤りがあった場合には、再度エントリーを行うのではなく、印刷した「採用願書」の該当箇所を赤字で修正し提出してください。
 注3) Web エントリーができない場合には、手書き記入用「採用願書」を送

付致しますので、事前に書類提出先(第9項)へ書面にて「採用願書」
をご請求ください。

- (2) 履歴書 (6ヶ月以内に撮影した写真を貼り付けすること)
..... 原本1部、コピー4部
- (3) 研究業績リスト 4部
- (4) 主著ないし主論文 1編 4部
博士論文提出済みの場合、博士論文を主論文としてください。そうでない場
合、主論文は複数の業績を体系的に合冊編集したものでも構いませんが、そ
の場合は表紙に統一タイトルを付けてください。
- (5) 主著ないし主論文の要約 4部
A4判1枚に次の5項目を明記してください。
①氏名、②所属、③主論文のタイトル、④キーワード、⑤要約(日本語で1000
字以内)
- (6) その他業績 3編まで 4部
主論文以外で応募者が審査に資するとみなす業績。提出は任意です。
ただし、提出の場合は、主論文とその他業績の区別を、各論文の表紙に明記
してください。
- (7) スペイン語およびスペイン語圏地域研究の教育に関する抱負 (A4判1枚、
日本語で1200字程度。冒頭に氏名と所属を明記してください。)
..... 4部

※提出書類に不備のある場合は審査の対象になりません。

※業績はコピーでも構いません。

※提出書類は一切返却しませんのでご了承ください。

※提出書類は募集以外の目的では使用せず、選考後は適正に処理します。

9 書類提出先 〒223-8521

神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

慶應義塾大学商学部日吉主任室気付 スペイン語部会採用担当

※封筒の表に「商学部スペイン語専任教員応募書類」と朱書きのうえ、
上記提出書類(1)～(7)を必ず書留郵便でお送りください。

10 選考方法 7月下旬までに下記の要領で実施します(面接の交通費は支給されません)。

- (1) 書類選考
(2) 第一次面接
(3) 第二次面接(人事委員会面接)

11 選考の結果は追って本人宛に文書で通知します。

12 その他 応募資格等不明な点に関するお問い合わせは
書面(書類提出先に郵送)に限らせていただきます。

以上

慶應義塾大学経済学部専任教員募集要項

1. 担当科目：中国語
2. 募集人員：1名
3. 応募資格：中国語・中国文学、または中国の文化・社会を専攻しており、日本の大学における中国語教育の経験を有していることが望ましい。
博士課程を修了し、博士号を取得しているかそれと同等の研究歴を有すること。
授業および校務を遂行するのに支障のない日本語運用能力を有すること。
4. 採用年月日：2016年4月1日
5. 採用時の職位および待遇：
職位は専任講師または准教授。
給与は慶應義塾大学給与規定による。
6. 提出書類：
 - ① 採用願書（所定用紙） 1通
始めに Web エントリーを行い、エントリーフォーム（「採用願書」）をプリントアウトしたものと、その他の提出書類一式を揃えて、書類提出期限内に指定の方法で書類を送ってください。必ず Web エントリーと応募書類の郵送の両方を行ってください。一方のみでは応募は完了しません。

<Web エントリー>

右記 URL (<http://www.econ.keio.ac.jp/recruit/index.shtml>) から Web エントリーページにアクセスし、必要事項を入力してください。

注1) 必ず、プリンターの設置された環境で行ってください。登録完了後の「採用願書」画面を印刷し、応募書類送付時に同封してください。

注2) 登録完了後、内容に誤りがあった場合は、再度エントリーを行うのではなく、印刷した「採用願書」の当該箇所を赤字で修正し、提出してください。

注3) Web エントリーができない場合には、経済学部長秘書係へ書面にて「採

用願書」をご請求ください。

② 履歴書（写真添付・A4判） 1 通

③ 主要論文または主要著書あわせて3点以内、およびそれぞれの要旨。
..... 各3部

（3部のうち2部はコピーでも可）

④ 研究業績リスト（A4判） 1 通

7. 選考方法：書類選考に合格した候補者について面接（日本語・中国語）を行う。面接では模擬授業も予定している。
日時などは後日候補者に直接通知する。

8. 書類提出先・問い合わせ先：

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学経済学部長秘書係

9. 書類提出期限：2015年4月3日（金）必着。書留による郵送に限る。

10. その他：

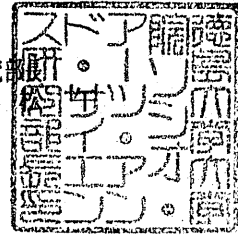
- ① 提出書類の封筒の表に「中国語教員応募書類」と朱書してください。
- ② 提出された書類は論文等も含め原則として返却しません。
- ③ 問い合わせは書面（郵送）に限ります。
- ④ 個人情報保護法令に基づき、応募者の個人情報は審査以外の目的には使用いたしません。

2015年2月24日

慶應義塾大学
経済学部長

関係機関長 殿

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
平井



教員の募集について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本研究部では下記の要領で教員を公募することとなりました。
つきましては、貴職関係諸方面への周知方についてよろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

- 1 所属 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
基礎科学研究部門 人文科学分野
※大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部ならびに総合科学部は平成28年度に改組を計画していることから、所属部局名並びに学部名・学科名が変更される場合があります。
- 2 専門分野 日本近現代文学
- 3 担当授業科目 大学院総合科学教育部地域科学専攻（博士前期課程）
「発展型基盤科学文系特論」「地域科学特別演習Ⅰ」
総合科学部
「日本文学研究Ⅰ」「日本文学講読Ⅲ」「日本文学演習」「卒業研究」
全学共通教育
教養科目群「歴史と文化」（「近現代文学の世界Ⅰ」「近現代文学の世界Ⅱ」）
※上記以外の科目も担当することがあります。
- 4 職種 准教授または講師
- 5 募集人員 1名
- 6 採用予定日 平成27年10月1日
- 7 応募資格 博士の学位を有する者（準ずると認められる者を含む）
- 8 提出書類
(1) 教員選考申請書（写真貼付）（別紙様式1）
(2) 研究業績書（別紙様式2） 主要業績3点に○印をつけること
(3) 教育業績書（別紙様式3）
(4) 外部資金の取得状況（学内競争的資金を含む）（別紙様式4）
(5) これまでの研究・教育の概要と今後の抱負（2000字程度）
(6) 著書・研究論文を含むすべての研究業績（別刷り又はコピーで可）
(7) その他、必要と認めるものを、後ほど依頼することがあります。
※別紙様式は研究者人材データベース (<http://jrecin.jst.go.jp/>) からダウンロード可能です。
- 9 応募期限 平成27年4月16日（木）17時15分（必着）
- 10 選考方法 書類選考による。ただし、原則として選考の段階で面接・講演会等を行います。
その際の旅費は、自己負担となります。
最終選考については、平成27年5月頃の予定です。
- 11 応募書類の提出先 〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地
徳島大学総務部人事課人事係宛
※郵送の場合は、必ず「書留」にし、封筒の表に「日本近現代文学教員応募」と朱筆すること。
※応募書類は原則返却しませんが、返却を希望される場合は、宛先を記入した着払いの荷物送り状伝票（ゆうパック等）または切手を貼った返信用封筒を同封して下さい。
- 12 応募、その他給与等に関する問い合わせ先 徳島大学総務部人事課人事係
koubo@tokushima-u.ac.jp
TEL 088-656-8601
FAX 088-656-7019

※徳島大学の教員選考においては、国籍、性別及びハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公正な選考を行っています。
※本件については、研究者人材データベース(<http://jrecin.jst.go.jp/>)にも掲載しています。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所 研究教育職員 募集要項
(ウェブサイト <http://www.ninjal.ac.jp>)

国立国語研究所は、日本語研究の国際的拠点として、日本語学、言語学、及び日本語教育研究に関連する諸分野において国内外の研究者・研究機関と多様な共同研究プロジェクトを推進し、優れた学術的・社会的研究成果ならびに価値ある研究情報を研究者コミュニティ及び一般社会に発信することを目的としている。研究所は、理論・構造研究系、時空間変異研究系、言語資源研究系、言語対照研究系の4研究系と、研究情報資料センター、コーパス開発センター、日本語教育研究・情報センターの3センターで組織されている。

このたび、日本語教育研究・情報センターの研究教育職員を以下のとおり募集する。本センターは、第二言語(外国語)としての日本語の教育・学習をとりまく様々な今日的課題に鑑み、国内外の日本語教育に関する研究情報を収集するとともに、研究所内のセンターおよび研究系ならびに国内外の大学・研究機関と日本語教育に資する高度な学術研究を推進し、それらの情報や成果を社会に発信・還元することをミッションとしている。

1. 募集内容

- | | |
|-----------|---|
| (1) 職 名 | 教授または准教授 1名 |
| (2) 専門分野 | 日本語教育研究 |
| (3) 配 属 先 | 日本語教育研究・情報センター
なお、研究系と連携して領域横断的研究を実施する観点から、①理論・構造研究系、②時空間変異研究系、③言語資源研究系、④言語対照研究系のいずれかと兼務するものとする。 |
| (4) 職務内容 | コミュニケーションの観点から、日本語学習者の日本語使用に関する実証的・理論的な研究(国内外の研究者・研究機関との共同研究および個人研究)を行う。 |
| (5) 採用時期 | 平成28年4月1日以降できるだけ早い時期 |

2. 勤務条件等

大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員就業規則に基づく(以下、条件等)

- | | |
|----------|------------------------------|
| (1) 勤務時間 | 専門業務型裁量労働制を適用する |
| (2) 休 日 | 週休2日(土、日)、祝・祭日、年末・年始 |
| (3) 給 与 | 大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員給与規程に基づく |
| (4) 保 険 | 文部科学省共済及び労働保険に加入 |

3. 応募資格

以下のすべてを満たす者

- (1) 博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有すること。
- (2) 日本語母語話者および非母語話者の話し言葉の運用に関する研究業績を有すること。
- (3) 英文著書(分担執筆を含む。)または査読付き英文論文の研究業績を有すること。
- (4) 全国的・国際的な共同研究を企画・運営した実績を有すること。
- (5) 国内外の大学・研究教育機関において外国人に対する日本語教育の経験を1年以上有すること(個人指導やボランティアは含まない)。
- (6) 日本語を母語としない場合、業務に支障がない日本語能力を有すること。

4. 選考方法

- | | |
|-----------|--|
| (1) 第1次選考 | 書類審査 |
| (2) 第2次選考 | 面接審査(書類審査を通過した者に対して、平成27年5月中に面接審査を行う。詳細は第1次選考通過者に通知する。旅費等の経費は、応募者の負担とする。なお、海外からの応募者に対しては、面接方法を考慮する)。 |

5. 提出書類

- (1) 応募申請書（様式第1号）
- (2) 研究者略歴（様式第2号）
- (3) 研究業績書（様式第3号）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内 各1部

※ なお、外国語で書かれた業績には、日本語の概要（A4判横書き1枚1600字以内）を添付。主要著書、論文については、第三者による評価を示すもの（例えば、受賞、書評、被引用件数、教材としての採択件数など）があれば添付する。
（コピー可）

- (5) 研究内容等（様式第4号）

※ 上記4つの様式（第1～4号）はウェブサイトよりダウンロードすること。

6. 提出締切日

平成27年4月20日（月）必着

7. 書類提出先

書留郵便とし、封筒に「研究教育職員応募書類（日本語教育研究）」と朱記し、提出締切日までに必着のこと。

郵送先住所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 管理部総務課人事係 宛

※ なお、提出された書類等は原則として返却しない。

<個人情報の取扱いについて>

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、教員として採用される方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄します。教員として採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究所内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【本件問合せ先】

研究内容：日本語教育研究・情報センター長 迫田 久美子

E-mail : sakodak@ninjal.ac.jp

勤務条件等：管理部総務課人事係

Tel : 042-540-4376・4382

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所 研究教育職員 募集要項
(ウェブサイト <http://www.ninjal.ac.jp>)

国立国語研究所は、日本語研究の国際的拠点として、日本語学、言語学、及び日本語に関連する諸分野において国内外の研究者・研究機関と多様な共同研究プロジェクトを推進し、優れた学術的・社会的研究成果ならびに価値ある研究情報を研究者コミュニティ及び一般社会に発信することを目的としている。研究所は、理論・構造研究系、時空間変異研究系、言語資源研究系、言語対照研究系の4研究系と、研究情報資料センター、コーパス開発センター、日本語教育研究・情報センターの3センターで組織されている。

このたび、研究所では、言語対照研究系の研究教育職員を以下のとおり募集する。

1. 募集内容

- | | |
|-----------|---|
| (1) 職 名 | 教授または准教授 1名 |
| (2) 専門分野 | 日本語を含む対照言語学または言語類型論 |
| (3) 配 属 先 | 言語対照研究系
※ なお、研究所内の連携・協力体制のため、センターの職務を兼務することがある。
※ 言語対照研究系は、対照言語学的あるいは言語類型論的な観点から日本語を世界の諸言語と比較することによって日本語の普遍性と個別性を解明することを研究目的とする。日本語の研究から出発して、究極的には言語学一般に貢献することが目標である。 |
| (4) 職務内容 | 日本語（方言を含む）を軸とした対照言語学的または言語類型論的研究を行うこと。また、国内外の研究者との共同研究を推進すること。
※なお、言語対照研究系における研究だけでなく、他の研究系における研究にも貢献することが望まれる。 |
| (5) 採用時期 | 平成28年4月1日（予定。採用日については応相談） |

2. 勤務条件等

大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員就業規則に基づく（以下、条件等）

- | | |
|----------|------------------------------|
| (1) 勤務時間 | 専門業務型裁量労働制を適用する |
| (2) 休 日 | 週休2日（土、日）、祝・祭日、年末・年始 |
| (3) 給 与 | 大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員給与規程に基づく |
| (4) 保 険 | 文部科学省共済及び労働保険に加入 |

3. 応募資格

以下のすべてを満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
（平成27年9月30日までに学位の取得が可能な者を含む。）
- (2) 日本語を含む対照言語学的または言語類型論的研究の業績を有すること。
- (3) 全国規模の共同研究を企画・運営する高い能力と意欲を有すること。
- (4) 日本語を母語としない場合、業務ならびに学術研究に支障がない程度の高度な日本語能力を有すること。

4. 選考方法

- (1) 第1次選考 書類審査
- (2) 第2次選考 面接審査（書類審査を通過した者に対して、平成27年5月中に面接審査を行う。詳細は第1次選考通過者に通知する。なお、海外からの応募者に対しては、面接方法を考慮する）。

5. 提出書類

- (1) 応募申請書（様式第1号）
- (2) 研究者略歴（様式第2号）
- (3) 研究業績書（様式第3号）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内 各1部
※ なお、主要著書、論文については、第三者による評価を示すもの（例えば、受賞、書評、被引用件数、教材としての採択件数など）があれば添付する。
（コピー可）
- (5) 研究内容等（様式第4号）
※ 上記4つの様式（第1～4号）はウェブサイトよりダウンロードすること。

6. 提出締切日

平成27年4月20日（月）必着

7. 書類提出先

書留郵便とし、封筒に「研究教育職員応募書類（言語対照研究系）」と朱記し、提出締切日までに必着のこと。

郵送先住所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 管理部総務課人事係 宛

※ なお、提出された書類等は原則として返却しない。

<個人情報の取扱いについて>

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、教員として採用される方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄します。教員として採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究所内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【本件問合せ先】

研究内容：言語対照研究系教授 プラシャント・パルデシ
E-mail: prashant@ninjal.ac.jp
勤務条件等：管理部総務課人事係
Tel: 042-540-4376・4382

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所 研究教育職員 募集要項
(ウェブサイト <http://www.ninjal.ac.jp>)

国立国語研究所は、日本語研究の国際的拠点として、日本語学、言語学、及び日本語教育研究に関連する諸分野において国内外の研究者・研究機関と多様な共同研究プロジェクトを推進し、優れた学術的・社会的研究成果ならびに価値ある研究情報を研究者コミュニティ及び一般社会に発信することを目的としている。研究所は、理論・構造研究系、時空間変異研究系、言語資源研究系、言語対照研究系の4研究系と、研究情報資料センター、コーパス開発センター、日本語教育研究・情報センターの3センターで組織されている。

このたび、研究所では、時空間変異研究系の研究教育職員を以下のとおり募集する。

1. 募集内容

- (1) 職 名 教授または准教授 1名
- (2) 専門分野 日本語史
- (3) 配 属 先 時空間変異研究系
※ なお、研究所内の連携・協力体制のため、センターの職務を兼務することがある。
- (4) 職務内容 歴史コーパス・言語データベース等を利用した研究を含む日本語史研究を行うこと。また、国内外の研究者との共同研究を推進すること。
※ なお、時空間変異研究系における研究だけでなく、他の研究系における研究にも貢献することが望まれる。
- (5) 採用時期 平成28年4月1日以降、できるだけ早い時期に採用。
(採用日については応相談)

2. 勤務条件等

大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員就業規則に基づく（以下、条件等）

- (1) 勤務時間 専門業務型裁量労働制を適用する
- (2) 休 日 週休2日（土、日）、祝・祭日、年末・年始
- (3) 給 与 大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員給与規程に基づく
- (4) 保 険 文部科学省共済及び労働保険に加入

3. 応募資格

以下のすべてを満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
(採用日前日までに学位を取得する者を含む)。
- (2) 日本語史に関する研究業績を有すること。
- (3) 言語コーパス・言語データベースの構築または活用に関する経験と強い意欲を有すること。
- (4) 教授にあつては、共同研究を企画・運営した実績を有すること（准教授にあつても実績があることが望ましい）。
- (5) 日本語を母語としない場合、業務ならびに学術研究に支障がない程度の高度な日本語能力を有すること。

4. 選考方法

- (1) 第1次選考 書類審査
- (2) 第2次選考 面接審査（書類審査を通過した者に対して、平成27年5月中に面接審査を行う。詳細は第1次選考通過者に通知する。なお、海外からの応募者に対しては、面接方法を考慮する）。

5. 提出書類

- (1) 応募申請書（様式第1号）
- (2) 研究者略歴（様式第2号）
- (3) 研究業績書（様式第3号）
- (4) 主要著書、論文（別刷又はコピー）5点以内 各1部
※ なお、外国語で書かれた業績には、日本語の概要（A4横書き1枚1600字以内）を添付。主要著書、論文については、第三者による評価を示すもの（例えば、受賞、書評、被引用件数、教材としての採択件数など）があれば添付する。（コピー可）
- (5) 研究内容等（様式第4号）
※ 上記4つの様式（第1～4号）はウェブサイトよりダウンロードすること。

6. 提出締切日

平成27年4月20日（月）必着

7. 書類提出先

書留郵便とし、封筒に「研究教育職員応募書類（時空間変異研究系）」と朱記し、提出締切日までに必着のこと。

郵送先住所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 管理部総務課人事係 宛

※ なお、提出された書類等は原則として返却しない。

<個人情報の取扱いについて>

本公募に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、教員として採用される方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄します。教員として採用される方については、人事、労務、給与関係処理等採用手続き及び研究所内の各種手続きに使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

【本件問合せ先】

研究内容：時空間変異研究系長 木部 暢子
E-mail: nkibe@ninjal.ac.jp
勤務条件等：管理部総務課人事係
Tel: 042-540-4376・4382

2015 年 2 月 26 日

関係大学 学 長 殿
学 部 長 殿
研究科長 殿
関係研究機関長 殿

駒澤大学文学部長
谷 口 泰 富
[公印省略]

専任教員の募集について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこのたび、駒澤大学文学部では、下記の要領により専任教員を公募いたします。

つきましては、貴学・貴機関の関係各位へのご周知方をお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 所属学部学科：文学部国文学科
- 2 採用予定職名および人数：准教授もしくは専任講師 1 名
- 3 勤務形態：常勤（任期なし）
- 4 教育・研究分野：日本語学（地域言語・方言）
- 5 採用予定年月日：2016 年 4 月 1 日
- 6 主要担当科目：「日本語文法入門」「基礎国語学」「国語学研究」「国語国文学演習」「卒業論文」「新入生セミナー」など
*担当科目は、あくまで予定。
*大学院（講義・演習）を担当する可能性もある。
- 7 応募資格・条件：
 - 1) 博士の学位を有する方、またはこれに準ずる研究業績を有する方。
 - 2) 日本語学（地域言語・方言）の業績を有する方で、上記科目を担当し得る方。
 - 3) 学科・学部・大学運営に関わる業務に理解のある方。

8 提出書類

- 1) 本学科指定の履歴書・研究業績書（業績多数の場合、主要論文5点に○印を付すこと）1部
※本学科指定の履歴書・研究業績書（Excel ファイル）は、本学WEBサイト「教職員公募」(http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/recruit/20150227kokubun_kyoinkobo)よりダウンロードして下さい（記入要領・記入例を参照のこと）。独立行政法人科学技術振興機構JREC-IN（研究者人材データベース）にも本公募情報を掲載していますので、そちらからもダウンロード可能です。
- 2) 学位記の複写、あるいは学位取得証明書
- 3) 主要論文5点以内（コピー可） 各1部
- 4) 上記3)の要旨（各800字程度）
- 5) 教育および学科運営に対する抱負（1200字程度）
（駒澤大学文学部国文学科の専任教員になった場合の、教育および学科運営に関する抱負をまとめて下さい。これまで教育経歴のある方は、その経験を踏まえて書いて下さい。）

9 応募期限：2015年4月25日（土）消印有効

10 提出先：駒澤大学文学部国文学科事務室

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel / Fax 03-3418-9234

※郵便（簡易書留、レターパックプラス）または宅配便とし、封筒の表に「教員公募書類在中」と朱記して下さい。

11 問合せ先：kokubunkobo@komazawa-u.ac.jp

駒澤大学文学部国文学科 教員公募担当

※問合せは電子メールに限ります。

12 選考日程等：

- 1) 選考の最終段階で複数の応募者に対する面接（模擬授業）を実施します。その際の旅費は応募者の負担とします。
- 2) 最終選考結果は、2015年9月上旬までに通知する予定です。
- 3) なお、追加書類・業績の提出を求める場合があります。

13 その他

- 1) 応募に関する秘密は厳守します。書類は、採用事務以外の用途には使用しません。
- 2) 提出された書類は、返却しません。

以上

知 専 人 第 1 3 7 号
平成 2 7 年 3 月 9 日

関 係 大 学 長 殿
国公立高等専門学校長 殿

高知工業高等専門学校長
船 橋 英 夫
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記により教員を公募いたします。
つきましては、関係者へ御周知くださいますとともに、適任者の御推薦をいただきたく、よろしく
お願い申し上げます。

敬 具

記

1. 募集人員 准教授又は講師 1 名
2. 所属学科 総合科学科
3. 専門分野 国文学、日本文学、国語教育等関連分野
4. 担当予定科目 国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日本語表現等
5. 応募資格 (1) 上記専門分野を専攻し、国語授業を担当できる方
(2) 修士以上の学位を有する方、又は着任時までに取得見込みの方
(3) 学生指導(クラブ指導、寮生指導等)と教育に熱意を持ち、研究意欲のある健康な方
6. 採用予定年月日 平成 2 7 年 9 月 1 日
7. 応募期限 平成 2 7 年 5 月 2 9 日(金) 必着
8. 選考方法 第一次選考 書類審査
第二次選考 面接及び模擬授業(書類審査合格者に実施日時等を直接連絡します。なお、第二次選考に係る旅費・宿泊費等は個人負担となります。)
9. 提出書類 (1) 履歴書(本校所定用紙に本人自筆、写真貼付)(様式 1)
(2) 研究業績リスト(著書、論文、口頭発表等)(様式 2)
(3) 主要論文等の別刷 5 編以内(コピー可)
(4) 高等専門学校での教育並びに研究に対する抱負(2000 字以内、様式 3)
※様式 1～3 については、本校ホームページ教職員募集のお知らせ
(<http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/index.html>) から取得してください。
10. 提出先 〒 7 8 3 - 8 5 0 8
高知県南国市物部乙 2 0 0 番 1
高知工業高等専門学校総務課人事・労務係
・封筒の表には「総合科学科国語教員応募書類」と朱書きし、必ず簡易書留
で郵送してください。
11. 問い合わせ先 高知工業高等専門学校
総合科学科 学科長 宮川 敏春
TEL 088-864-5518(直通) 不在時 088-864-5604(総務課人事・労務係)
FAX 088-864-5606(総務課総務担当)
E-mail tmiya@ge.kochi-ct.ac.jp 又は jinji@jm.kochi-ct.ac.jp
12. その他 ・本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に基づき、業績等が同等と
認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。
・職名は、年齢、業績等を考慮して決定します。
・応募書類は返却いたしません。応募者の個人情報、本教員選考のために
使用するものであり、その他の目的に使用することはありません。

2015 年 3 月 9 日

関係機関長 殿

中京大学国際教養学部長 杉江 修治
(公印省略)

専任教員の募集について (依頼)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記のとおり専任教員を公募いたします。つきましては、関係各位への周知について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

募集要項

1. 担当科目 学部固有科目・全学共通科目の「英語」および関連科目
2. 職名 講師または准教授
3. 採用人数 1 名
4. 応募資格
 - (1) 日本語と英語の両方で教育指導ができる者 (大学レベルでの英語教育経験を有することがのぞましい)
 - (2) 日本語母語話者でない場合、職務遂行に支障のない日本語運用能力があること
 - (3) 博士の学位を有する者、またはそれと同等の研究業績を有する者 (専攻分野は英語学・英米文学に限らない)
 - (4) 名古屋市またはその近郊に常住し得る者
5. 採用時期 2016 年 4 月 1 日
6. 応募締切 2015 年 7 月 3 日 (金) 必着
7. 応募書類部
 - (1) 履歴書 (写真貼付、押印、電子メールアドレス記入) 日本語版 1 部及び英語版 1 部
 - (2) 研究業績目録 日本語版 5 部
 - (3) 主たる研究業績 3 点の現物または抜刷各 5 部 (コピー可)。主業績 1 点を明示すること。ただし、単著書、博士論文は各 1 部で可。
 - (4) 主たる業績 3 点の梗概 (各英語で 300 語程度) 各 5 部
 - (5) 現在までの研究・教育に関する概要と今後の研究計画および大学における英語教育に対する抱負 (日本語で 2,000 字程度) 5 部
8. 選考方法 国際教養学部教授会において審議の上、選考する。
※ 最終選考にあたり面接・模擬授業を実施する。
※ 交通費は自己負担とする。
9. 書類送付先 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2
中京大学国際教養学部長 杉江 修治
※ 応募書類は、封筒に「英語専任教員応募」と朱書き、書留または記録の残る輸送方法で送付のこと。
10. 問い合わせ先 中京大学教育学部 (国際教養学部担当) FAX : 052-835-7164
※ 問い合わせは FAX で行うこと。
11. 備考
 - (1) 提出書類に含まれる個人情報は本選考以外の目的には使用しない。
 - (2) 研究業績返却希望の場合は返送用封筒 (切手貼付、宛先明記) を同封のこと。
 - (3) 本学部の詳細は本学部 HP(<http://www.ils.chukyo-u.ac.jp>)を参照のこと。
 - (4) 本学の定年は 65 才である。

Chukyo University
101-2 Yagoto Honmachi
Showa Ward
Nagoya City 466-8666
Japan

9 March 2015

Faculty Position in English Language
School of International Liberal Studies, Chukyo University

Chukyo University (School of International Liberal Studies, ILS) invites applications for a tenured, full-time faculty position in English language.

Course responsibilities	English language classes (including oral communication) for International Liberal Studies students, general English language classes, and other related classes
Qualifications	(1) Language of instruction: Japanese and English (teaching experience of English at the university level desirable); (2) Non-Japanese native speaking applicants must be able to carry out regular administrative duties using Japanese; (3) Ph.D. or equivalent professional qualifications in any field of expertise (not limited to English linguistics and English literature); (4) Resident of Nagoya City or the adjacent area as of 1 April 2016
Title of position	Lecturer, or associate professor, depending on qualifications
Number of openings	1
Starting date	1 April 2016
Application deadline	3 July 2015 (deadline of receipt)
Application materials	(1) 1 copy of signed curriculum vitae (in English) and <i>rireki-sho</i> , including a recent photo and e-mail address; (2) 5 copies of list of publications and other research activities (in Japanese); (3) 5 copies of 3 major publications (offprints and photocopies acceptable; specify the most important one; if you want to include a book and/or doctoral dissertation, submit 1 copy each); (4) 5 copies of English synopses of 3 major publications (about 300 words each); (5) 5 copies of a statement in Japanese (about 2,000 characters), outlining the applicant's proposals concerning English language teaching at Japanese universities and research plans
Selection	To be selected in the faculty meeting of the School of International Liberal Studies, Chukyo University. Short-listed candidates will be invited for an interview and required to present a model lesson. No travel expenses will be reimbursed.
Mail to	Professor Shuji Sugie, Dean of School of International Liberal Studies, Chukyo University, 101-2 Yagoto Honmachi, Showa Ward, Nagoya City 466-8666, Japan (On the face of the envelope, indicate in red, "Application for Faculty Position in English Language," and send it by registered mail.)
Reference	Kyogakubu, Chukyo University (FAX: 81-(0)52-835-7164) Enquiries should be directed only by FAX.
Notes	(1) Submitted materials will be treated confidentially, and will not be used for any other purposes. (2) Submitted publications can be returned by enclosing a stamped, self-addressed envelope. (3) Relevant information about Chukyo ILS is available at the website http://www.ils.chukyo-u.ac.jp/ . (4) Our mandatory retirement age is 65.

国資総第 176 号

平成27年2月16日

各 位

人間文化研究機構

国文学研究資料館長 今西 祐一郎

(公印省略)

平成27年度 人間文化研究機構国文学研究資料館
特別共同利用研究員（大学院学生）の募集について（周知依頼）

国文学研究資料館は、日本文学及びその関連領域に関する文献資料等の調査研究、収集、整理及び保存につとめ、その成果を広く研究者一般の利用に供することにより、日本文学及びその関連領域の研究の進展に寄与することを目的とする大学共同利用機関です。

大学共同利用機関は、それぞれの機関の目的たる研究等を行うほか、大学の要請に応じ、大学院における教育に協力しています。

このため、当館では、大学院教育協力の制度を設け、「国文学研究資料館特別共同利用研究員受入要項」のとおり、広く全国的に大学院学生の参加を募っています。

つきましては、貴大学の関係者にこの旨を周知くださるようお願いいたします。

なお、募集案内は当館ホームページ（<http://www.nijl.ac.jp/>）にも掲載しております。

平成27年度国文学研究資料館

特別共同利用研究員受入要項

1. 目的

大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、当館に「特別共同利用研究員」を受入れ、必要な研究指導を行う。

2. 特別共同利用研究員

特別共同利用研究員とは、国立大学法人法に基づき、大学共同利用機関である国文学研究資料館において研究に従事し、併せて研究指導を受ける大学院学生をいう。

3. 受入人員

10名程度

4. 受入対象

大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、日本文学、歴史学及びこれらに関連する分野を専攻する者

5. 受入期間

平成27年4月 ～ 平成28年3月

なお、特別共同利用研究員の研究状況により、所属する大学院及び本人の申出があった場合、館内で審査のうえ1年の延長を認めることがある。

6. 研究指導場所

国文学研究資料館（東京都立川市緑町10-3）

7. 指導教員・研究指導課題

別紙「国文学研究資料館 特別共同利用研究員 研究指導概要一覧」を参考に、当館における研究課題を決めること。

また、希望する当館の指導教員に応募前に必ず連絡をとること。

（事前連絡のない場合、受入審査に付されない場合がある。）

なお、希望する指導教員以外が研究指導を行う場合がある。

8. 提出書類

- (1) 所属する大学院研究科長の委託書（様式1）
- (2) 所属する大学院指導教員の推薦書（様式2）
- (3) 当該学生の在学証明書及び成績証明書
- (4) 当該学生の略歴（様式3）
- (5) 研究業績（様式4）
- (6) 研究計画（様式5）

9. 提出期限

平成27年4月15日（水）（必着）

10. 研究指導に係る費用

無料とする。

11. 受入の決定

提出された書類に基づき、当館大学院教育委員会で審査の上、館長が決定し、その結果を所属する大学院の研究科長及び本人に通知する。

12. その他

- (1) 特別共同利用研究員制度により受け入れたすべての大学院学生に対する単位の認定及び学位論文の審査や学位の授与に関しては、当館が直接関与するものではなく、それらは当該大学院学生が在籍する大学院で行うことを前提としています。
- (2) 当館では、災害補償制度は準備しておりません。
あらかじめ所属大学で、財団法人日本国際教育支援協会の行っている学生教育研究災害傷害保険等に参加してください。
- (3) 当館は、特別共同利用研究員の宿舍の用意はありません。
- (4) 当館の研究、事業および教員紹介については、ホームページ（<http://www.nijl.ac.jp/>）を参照してください。

【関係書類の提出先及び問合せ先】

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国文学研究資料館
管理部 総務課 研究支援室 教育支援係 宛

TEL : 050-5533-2915 / 2916

FAX : 042-526-8604

E-mail : edu-ml@nijl.ac.jp

国文研の特別共同利用研究員になると
以下の環境で研究ができます。

研究者の指導を受けることができる

特別共同利用研究員室が利用できる

日本文学関係資料及び歴史関係資料の貴重書・
特別コレクション等を有する図書館を利用できる

資料複写を館内料金で利用できる

国文研館内の共同研究会等に出席できる

併設の総合研究大学院大学の日本文学研究専攻
が主催する特別講義を聴講できる

内外の研究者等と交流することができる

平成27年度 国文学研究資料館特別共同利用研究員 研究指導概要一覧

分野	研究指導概要		指導教員
古代文学	万葉集の諸伝本の研究	『万葉集』の主要な伝本について、平安期から鎌倉期の仙覚校訂本までの伝来の歴史の中に有機的に位置づけながら解説を行う。	田中大士
	『源氏物語』の異本と異文に関する研究	『源氏物語』の各種古写本における異文を対象として、多様な本文の位相を考察する。『源氏物語』の本文研究は、昭和十三年以降ほとんど進展していないのが実状である。データベースを活用して探求していく。	伊藤 鉄也
中世文学	中世文学の研究、特に和歌に関する研究	院政期以降の和歌につき、その中世的な特質を具体的な資料に即しながら検討する。とくに場や歌人の活動、表現の変遷等に関する新たな観点からの再検討を試みることで、中世和歌における諸問題を、和歌史全体を視野に収め、先行説を見据えた上で考え直したい。	寺島 恒世
	中世文学の研究、特に室町期の物語や語り物に関する研究	室町時代から江戸時代の前期にかけて流布した御伽草子と呼ばれる物語や語り物である幸若舞曲の形成について、主に文化史的な環境から研究する。また、それらが多く絵入り本(絵巻・絵本)で伝承された意味についても考察したい。	小林 健二
	中世文学・中世芸能の研究	中世の文学および芸能について、それらに関わる資料の調査と分析を重視しつつ作品研究を行う。	落合 博志
	中世文学の研究、特に説話に関する研究	中世から近世にかけて、寺社を舞台として伝承された説話や室町物語などを主な研究対象として取り上げる。これらに関連する絵画資料や郷土資料、民俗資料等を視野に入れ、作品の成立基盤や時代背景、および関連する人物などについて考究し、文学史的位置付けを行う。	齋藤真麻理
	和漢比較文学および域外資料の文学的研究	日本文学に影響を与えた漢籍の分析と受容の研究、あるいは文学領域外の資料の学問体系の分析を行うことを通じて、その知識体系の分析と、文学への根底的影響の展望を求める。今年度は、観相資料の分析を主に進めている。	相田 満
	中世和歌、堂上の学問と儀礼に関する研究	中世の和歌、歌学書、注釈書、伝書などの諸論書、及び、中世から近世初頭にかけて著された堂上公家の学問と儀礼に関する諸文献や記録資料につき、文献学的検討を通じた資料批判と検討を行い、その文化史的意義について考える。	海野 圭介
	中世和歌の表現に関する研究	中世和歌について、特に表現面から研究を行う。中世和歌は、先行する古典作品(和歌・漢詩・物語)や注釈書など、様々な知識と読解の堆積の上に表現が形成される。周辺領域にまで目を配り、さらには本文批判を踏まえて作品の読解にあたる。	小山 順子
近世文学	近世小説様式の研究	近世小説のある一作品を、ある一定のジャンルに含まれる作品と認識し得るのは、その作品が、そのジャンルに固有の(様式)を備えているからである。形態・内容の両面から、様式的特性に留意しながら作品を把握し直し、ジャンル全体への展望を試みる。	大高 洋司
	草双紙・浮世絵等の書誌的・注釈的研究と、周辺文芸との関わり	近世期草双紙や浮世絵等の書誌的・注釈的研究。草双紙においては、歌舞伎・浄瑠璃との関わり、浮世絵においては、文芸との関わりや受容等を明らかにする。	山下 則子
	書物交流に関する研究	漢籍をはじめとする書物の伝来、流布と、それをめぐる様々な史実に関する研究。とくに日中両国間における書物の移動と日中文化交流を中心とする。	陳 捷
	和歌史ならびに古典学の研究	私撰集・私家集・歌論歌学書などの歌書に基づいて、堂上と地下の諸問題、近世における注釈の種々相などを具体的に追究する。また、歌壇史・文壇史研究を射程に入れた伝記研究にも留意したい。	神作 研一

分野	研究指導概要		指導教員
	近世出版文化の研究	出版物を様式的に把握することを目的とする。写本と同様、出版された書物にも大きさや装丁など、様式がある。写本に比べ、手工業製品としての出版物は、技術的経済的理由により、強固に様式化される面も見られる。出版物のモノとしての側面に光をあて、様式上の問題を、具体例に則して考察してゆく。	入口 敦志
近代文学	近代文学の研究	近代文学成立期における言説編成の研究	谷川 恵一
	近代文学の研究	1910年前後の文学を対象に、出版メディアと社会の様態変容を視野に入れつつ、社会文化史的に研究する。	青田 寿美
情報学	文学情報処理	情報検索やマイニングなどの情報処理技術を応用した、日本文学研究に有用な電子資料データベースシステム構築について、日本文学研究の実フィールドでの評価・検証を行いながら、研究する。	古瀬 蔵
	文学情報処理	古今の文学テキストを題材にして、自然言語処理の立場からコンピュータを利用したテキスト解析手法について実証的な研究を行う。	野本 忠司
日本史学	幕府・藩の組織構造と文書群の史料学的研究	幕府・藩の組織構造と文書群の関わりに注目し、文書の発生、文書群の形成、文書の授受、管理システム、各種文書のライフ・サイクル、当時の文書認識、文書群の伝来などについて検討する。史料を取り扱う人々の基礎的な研究となることを目指したい。	大友 一雄
	記録史料の保存管理史・保存科学に関する研究	多様かつ膨大な記録史料を永く物理的に保存するため、保存管理の歴史的特質を明らかにするとともに、保存科学的観点からの環境管理方法や材質分析についての研究を行う。	青木 睦
	近世情報史の研究	近世都市の災害情報について考える。具体的には、①情報伝達と災害対応、②災害対応・対策の情報蓄積、③情報の伝播、という三つの論点がある。	渡辺 浩一
	公家家職の地域展開と地域資料	主に近世の公家家職が地域の人びとにどのような広がりをみせたか、地域に遺された資料群総体の中で考える。近世天皇・朝廷研究に収斂することなく、地域史のひとつとして研究を行う。	西村慎太郎
	幕府・諸藩の地域行政に関する史料学的研究	各地の奉行所・代官所や村方・町方に遺された史料群の構造分析を通じて、江戸幕府・諸藩の地域行政のあり方を考える。特に、各地域の自然環境や生産活動などの違いに伴う文書類の作成・管理・保存の相違や特色などにも注目して研究を行う。	太田 尚宏
アーカイブズ学	アーカイブズ学	多様かつ膨大な記録史料(アーカイブズ)を永く保存し、現代と未来の社会に活用するための学問であるアーカイブズ学について幅広く研究する。記録史料論、記録史料管理論を柱にして、記録史料の収集・整理・保存・利用に関する研究を深める。	大友 一雄 青木 睦 渡辺 浩一 西村慎太郎 太田 尚宏

様式1

平成 年 月 日

人間文化研究機構
国文学研究資料館長 殿

大学院研究科の長

所 属

氏 名

印

国文学研究資料館特別共同利用研究員の委託について（依頼）

このことについて、下記の者を貴館の特別共同利用研究員として委託したいので、よろしくをお願いします。

記

（ふりがな）

氏 名

生年月日・性別

年 月 日 男 ・ 女

現 住 所

（郵便番号 — ）

（TEL: — — ）

所属大学院における専攻名

研究科

専攻

所属大学院における在籍区分 修士・博士課程の別（平成 年度第 年次）

所属大学院における指導教員名

委託希望の指導教員名

委託希望先での研究課題名

委託希望期間 平成 年 月～平成 年 月

当館特別共同利用研究員としての在籍の有無

有（平成 年 月～平成 年 月）・ 無

様式2

推 薦 書

平成 年 月 日

人間文化研究機構
国文学研究資料館長 殿

指導教員（推薦者）

大学大学院

研究科

職 名

氏 名

印

貴館の特別共同利用研究員として下記の者を推薦します。

なお、貴館における委託希望教員

の内諾を得ております。

記

推薦する学生の氏名、所属研究科、専攻名

推薦理由（評価を含む）

様式3

略 歴

平成 年 月 日現在

ふりがな		印	性 別	年 月 日生
氏 名			男・女	満 才

現住所	(郵便番号 —)
	(TEL: — —)
	(E-MAIL:)

年 号	年	月	学歴・職歴（学会及び社会における活動等）	卒業・修了・中退
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				

※学歴は高等学校卒業から記入のこと。職歴がある場合は、学歴記入後にまとめること。

様式4

研 究 業 績

氏 名 _____

学 部 卒 業 論 文 名	
---------------	--

修 士 学 位 論 文 名	
---------------	--

著書及び学術論文名	発表又は 発表年月日	掲載誌名 又は学会名	発行所 (著書のみ)

※研究業績には学会等における口頭発表を含めてもよい。

様式5

研 究 計 画

氏 名 _____

当館における研究課題	
------------	--

内諾を得ている 希望指導教員名	所属・職名	
	氏 名	

※当館における1年間の研究計画について400字以上で具体的に記入してください。